



図1 波線より下部は、維管束植物で一般に認められるジベレリンの合成経路を示す。ヒメツリガネゴケはジベレリン合成能を持たない代わりに、経路途中のent-カウレン酸(KA)を基点として、3位に水酸基を導入して活性型分子を合成する。一方、2位水酸基の導入は不活性化を制御する。このような制御の様式は、ジベレリンにおいても見てとれる。